

Q1. どこに巣箱を設置すればよいか？

南北方向のハウスでは南側に巣門を北向きに、東西方向では西側に東向きにして置きますが、巣箱の位置よりも途中で場所を変えないこと重要です。

土耕栽培の場合農業用コンテナを2個重ねた高さ、高設栽培なら胸の高さにして置きます。

連棟ハウスの場合は、20アール程度で3棟までなら中央に設置します。

ただし、連結部が特に低いハウスでは、早く蜂が減る傾向があります。

Q2. あまり蜂が飛んでいるように見えない。どの程度飛んでいけばよいのか？

晴天で気温が上がった時間帯に一回りして、10アールあたり数匹以上の蜂が花に通っていれば充分です。1匹の蜂は1日10数回飛び出します。

むしろまだ花が少ない時期に訪花し過ぎると、雌蕊を傷つけて奇形果の原因になります。

巣箱設置後すぐには蜂が飛ばないか、または飛び回るだけで訪花しないことがあります。

若い働き蜂が新しい環境と巣箱の位置を学習する約1週間は仕方がない現象です。

雌蕊は1週間以上の受精能力を持つので心配無用です。雨天・曇天続きでも同じです。

Q3. 餌は与えなくてもよいのか？

十分な貯蜜を持った群であれば必要ありません。巣箱前で糖液を給餌することを勧めたり、蓋に給餌孔がある巣箱で出荷して糖液を別売りする業者もあります。

弊社のミツバチには予備の貯蜜巣が入れてあり、4ヶ月間は給餌無用です。

Q4. 途中、どうしても害虫防除の必要が生じた場合には、どうしたらよいか？

できるだけ低毒で残効性が少ない農薬を選んでください。

農薬ラベルが指示する期間は巣箱をハウスから出して、気温変化の少ない場所（降霜や日光直射が無い）で巣門を開放したまま自由にハチを飛ばさせてください。

農薬ラベルに記載がない場合には、メーカーに問い合わせる前に調べておいてください。

Q5. ひとつの巣箱を2棟以上のハウスにかけもちで使いたい、可能か？

ミツバチは太陽の紫外線を感知して、太陽と巣箱の位置関係を認識します。

原則的にはハウス1棟に巣箱1個ですが、同構造・同方向のハウスであれば、上手くミツバチを「だまして」掛け持ちさせることができます。

雌蕊の授精期間（上述）を考慮しながら、できるだけ少ない回数で巣箱を移動してください。完全に同じ位置関係にある場所に置くことが必要です。

Q6. 気温が高い日に蜂が騒いでビニールに衝突して死んでしまう。防ぐ策は？

対策はありません。ミツバチは15~16℃から飛び始め、18℃~25℃の間がもっともよく活動します。25℃以上になると質問のような現象が起きます。

また、イチゴの花の雌蕊は40℃を超えても受精能力を保ちますが、花粉は30℃以上になると駄目になります。温度管理は作物にも重要な要素です。

Q7. 巣箱が配達されたが、主人が旅行中。どうしたらよいか？

基本的には巣門を開放して自由に活動させるべきですが、1両日間程度なら冷暗所に保管は可能です。寒さで死ぬことはありませんが、暖かいハウス内は危険です。暑いと蜂が巣箱の中で騒いで熱を発生し、一瞬で全滅することもあります。

リースの蜂を返納する時も、直前まで自由に飛ばせておいてください。

Q8. リースの期限がきたが、よく飛んでくれるのでもうしばらく使いたい。

基本的にOKです。ただしそれ以降の活動保証はできません。

よく飛ぶ群ほど貯蜜が早く消費されるので、ある日突然餓死してしまうこともあります。3週以上延長の場合は、別の群をご注文下さい。

2ヶ月間程度なら、女王蜂フェロモン仕様の群が経済的です。働きはまったく変わりません。

Q9. 蜂に刺されないようにするにはどうすればよいか？ もし刺されたら？

確かに荒い性質のミツバチがいます。技術力のある業者を選んでください。

また、巣箱に衝撃をあたえないように扱って下さい。

ミツバチは空気ではなく巣箱からの振動を音のように感知します。

万一刺されたらすぐに刺針を爪先で引っ搔くようにして抜いて下さい。

指先で摘まもうとすると、かえって体内に毒液を注入してしまいます。

アレルギー体質の方は危険ですので、養蜂家に専用覆面布の提供を依頼して下さい。

Q10. 巣箱の前に働き蜂の死骸が出ている。這い回るが飛べない蜂がいる。

原因には農薬、病気、寄生ダニの影響などが考えられますが、もっとも多いのがダニの被害です。ダニ対策が不十分な群の場合このような症状が現れます。

暖かいハウスの中では女王蜂は産卵を続けますが、狭い不自然な環境でミツバチは次第に減ってゆきます。

しかし、ダニは増え続ける一方です。蜂の数は足りていても、ダニが多い蜂群は、長期間のイチゴ栽培の授粉には向いていません。

お問合せ先（有）俵養蜂場 TEL078-851-4166, FAX 078-854-0197、

E-mail; honey888@walz.ocn.ne.jp